

木育インストラクター（初級） 養成講座

～木育を実践する指導者を養成します～

講座では、木育の意義や木材・森林に関する知識、木育活動を実践するために必要なスキルを身に付けていただき、木育を推進するための「木育インストラクター」を養成します。



講師



たぐち ひろつぐ
田口 浩継 氏（熊本大学教育学部 副学部長・教授）

1960年熊本県生まれ。熊本大学大学院修了。博士（公共政策学）。幼児から高齢者を対象に全国各地で年間1万人に木育の出前授業・講演会やものづくり活動の場を提供。木育推進員養成講座の講師も務め、15年間に114回の講座を開催し、延べ3,602名の木育の指導員を養成。



日時

令和5年11月26日（日曜日）
9:00～17:00（受付開始 8:40）



会場

ベストリビング(株) CREATIVE BASE FAB
（日田市大字東有田1178-10・ウッドコンビナート内）



内容

講義及び実習

（内容）○木育に関する基礎知識 ○木育に関連する技術・技能
○教授・支援法（話し方・教え方）○企画・運営力
○木製玩具（円形木琴）の制作 など



対象者

20名（高校生以上）
※定員になり次第締め切ります。

木製玩具
（円形木琴）



参加料

— 無料 —

※本講座終了後に、熊本大学から「木育推進員」の認定書を発行します。
※昼食・飲み物は各自でご用意ください。

【申込み先】 日田市役所 林業振興課 林業振興係

【申込み方法】 TEL：0973-22-8362
*氏名・住所・年齢・連絡先をお伝えください。
FAX：0973-22-8246
E-mail：rinsei@city.hita.lg.jp
*参加申込書（市ホームページ掲載）に記載のうえ提出してください。

【申込み期限】 令和5年11月10日（金）
午後5時まで

【会場案内図】 ベストリビング（株）CREATIVE BASE FAB
（右記のとおり） ※お車で越しの方は、会場の駐車場をご利用ください。



「木育(もくいく)」とは…

身近な森とそこから生まれる木材という「恵み」や、人と森・木材との「つながり」に目を向けることです。それらを通して、豊かな感性と思いやりの心を育む『人づくり』、木の文化が息づく『社会作り』を目指します。

木育って何をするの？

木育は、難しそうに思われがちですが、実はとても簡単で、身近なことから始めることができます。

例えば…

- ・木のおもちゃで遊ぶ
- ・木のおいを嗅ぐ
- ・森を歩く
- ・木のある部屋で過ごす など

木に関わること
全てが木育



どんな効果があるの？

子どもは、生まれたときから五感（触覚・視覚・聴覚・嗅覚・味覚）が備わっています。

そのため、遊びや生活の中で「木」にふれることは、五感の刺激につながり、思考力や判断力などを養う原体験（げんたいけん）になると言われています。

特に幼児期は、知的・身体的・情緒的な発達や社会性を育むなど、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期とされ、木育による効果が期待されます。



原体験(げんたいけん)って？

現代は、テレビやインターネットが普及し、たくさんの情報を得ることができますが、その反面、自然に対する直接的な体験が減少しています。

子どもが五感を適した様々な体験をすることは、判断力や表現力、感性等を養う原体験となります。豊かな原体験は、自己の形成や将来の学習の基礎につながり、子どもたちの生きる力を育むと言われています。

～木や森をとおした原体験～

- ・木のおもちゃで遊ぶ
- ・木の実を食べる
- ・木のおいを嗅ぐ
- ・木登りする
- ・森の中を歩く
- ・落ち葉で遊ぶ
- ・工作をする など



原体験は大地の役割

参考：田口浩継,木育推進員養成講座テキスト (2018)

原体験は子どもを育む「大地」
であり、実る力は未知数